

むらづくりこもろ放俺夢 '93

記 録 集

市立小諸図書館



711117052-3

市民有志で結成された「こもろ放俺夢準備会」と小諸市との共催で平成5年3月6日に小諸市民会館において「土を、地域を、そして心を耕すー人・物・情報のネットワークづくり」をテーマに「むらづくりこもろ放俺夢'93」が開催されました。

当日の様子をこの冊子にとりまとめてみました。みなさまがたの地域づくりの参考になれば幸いです。

応援談にメッセージをお寄せいただいたみなさん、遠路おいでいただいた長谷部先生、キーパーソンの方、そして参加していただいたみなさんありがとうございました。

目 次

1	プロローグ.....	(5)
2	あいさつ.....	(6)
	小林俊弘小諸市助役	
	宮嶋佐一こもろ放俺夢準備会代表	
3	講演 飯田市 鎮守の杜風土舎 長谷部三弘氏	
	○長谷部さんのプロフィール.....	(8)
	○講演レジュメ.....	(9)
	○講演「むらづくりはドラマだ」.....	(11)
	・むらづくりをする前に.....	(12)
	・むらづくりをドラマで考える.....	(15)
	・シナリオの素材を考える.....	(30)
	・土を、地域を、心を耕す「風土舎」の実践.....	(35)
	・まとめにかえて.....	(40)
4	フォーラム.....	(44)
	ー農業・農村への、そして農業・農村からのメッセージー	
5	エピローグ.....	(75)
6	資料	
	○「風土舎」創立宣言.....	(76)
	○小諸応援談.....	(78)
	○参加者アンケート集約結果.....	(98)
	○講師、キーパーソン、参加者名簿.....	(101)



こもろ放俺夢準備会 宮嶋代表あいさつ



風土舎 長谷部三弘さんの講演



フォーラム、キーパーソンの掛川、山浦両氏



風土舎の物産の販売



意見を述べる参加者



100名余の参加者が市民会館会議室をうめた



酒蔵で開かれた“あとのまつり”



プロローグ

司会（柳沢 乃ぶ子） 皆さん本日はご苦労さまでございます。ただいまより「むらづくりこもろ放俺夢 '93」を始めたいと思います。それでは最初に開会の言葉。佐藤重さん。

佐藤 皆さん、きょうは「むらづくりこもろ放俺夢 '93」にようこそいらっしゃいました。桃の節句も過ぎ、すっかり春らしくなりました。寒さに縮こまっていた体も、さあやるぞとばかりによい季節です。きょうはこんな草の芽ぶきの季節にふさわしいような出会いがあれば、きっとその芽が大きく膨らんで花咲かせることでしょう。それでは「むらづくりこもろ放俺夢 '93」早速始めたいと思います。

司会 それでは、ごあいさつを申し上げたいと思います。小諸市の助役の小林俊弘さん、こもろ放俺夢代表の宮嶋さんお願いします。

あいさつ

小林俊弘助役

皆さんご苦労さまです。塩川市長が公務出張中でございますので、私助役の小林がかわって一言ごあいさつ申し上げます。

ようやく春めいてきましたが、本日市民有志の皆さんの準備会と市とで、「むらづくりこもろ放俺夢 '93」を開催しましたところ、お忙しい中また、ご遠方からもご参加いただきましてまことにありがとうございます。このフォーラムも平成元年の農業シンポジウムから4回目。こもろ放俺夢としては3回目を迎えますが、今回からは企画段階から市民の皆さんとご一緒につくり上げられましたことは、今回の大きな特徴かと思えます。準備会の皆さんに深く敬意を表します。

さて、名所名物は名人がつくると言われています。小諸市のふるさと創生事業のコンセプトは人材育成でありまして、まさに、この名人を育てることが目的であります。しかし、人づくりといえますのは、人は物ではありませんので、自分で育つということがない限り名人にはなれないと思えます。つまり、人づくりは自分づくりではないかと思えます。このフォーラムは4年前に始めたときから知識を一方向的に与えるということを目的としていません。講師の先生には本日大変お忙しい中、ご指導いただくわけですが、よろしく申し上げます。

それではなるべく本日は楽しい、おおらかな交流の場をつくるというのを心がけてまいります。参加者の皆さんが自発性と創造性で実り多い豊かな集いにしてくださることを念じておるところでございます。開会に当たりまして、一言ごあいさつ申し上げます。よろしく申し上げます。

宮嶋佐一こもろ放俺夢代表

宮嶋と申します。準備会の代表というようなことで、今ご紹介がありましたけれども、実は代表でも何でもなくて、準備会のただの一員です。よもやこんなところであいさつをするようなことになろうとは、私自身夢にも考えていなかったわけです。私は日ごろリングづくりをしているわけですけど、ふだんリングの木ばかり相手にしているもので、人間をあまり相手にしたことはないというもので、大勢の人の前で話をするなどということはとてもできる人間ではありません。今も頭の中が真っ白けで、これから何を言うか全然わからないような状態であります。

今まで、こもろ放俺夢に参加して準備というのを進めてきたわけですが、事務局の方が、放俺夢という字を見ていただければわかるとおり、「放つ自分の夢」というような、非常にすばらしい字を当ててくれたわけです。そんなのに従って、自分たちで何かいろんなことを語り合っていくうちには、何かが出てきはしないかというようなことで進めてきたわけです。実は本日のこういう企画も、自分たちがしたのではなくて、事務局がしたということもあります。しかし、我々も何かをしなければいけないという気持ちもあるんですけれども、実際に何をしたいのかよくわからない。また私も今まで2回か3回フォーラムがあったときに参加してないものですから、大体フォーラムとは何なんだろうということを、全然わかってないんです。きょうはまた皆さんと一緒に勉強させていただきたいというふうに思っております。

ここにテーマも上げてありますけれど、まず自分を耕さなければいけないなあと。農業に携わっている一人として何かをしなきゃいけないということはわかっているんですけれど、これから皆さんと一緒に勉強していきたいと思います。きょうは話を聞くだけではなくて、大いに皆さんにも言葉で、自分の考えということ放っていただきたいと思えます。そんな放っていただいたところから、何か動きが生まれたらいいなというふうに考えております。大変下手なあいさつで申しわけないですが、これから長時間楽しんでいただきたいと思います。どうもありがとうございます。

講師 長谷部 三弘さんの
プロフィール

飯田市役所に36年間奉職、うち31年間社会教育行政に携わる

91年3月退職

在職中 十万都市構想「ムトス飯田」をつくる

世界人形劇フェスティバル事務局長

人形劇カーニバル事務局長

飯田市公民館副館長

などを努める

地域では『鎮守の杜構想 - 十三の郷づくり -』を作成

現在はむら興しグループ「風土舎」を主宰

長い間社会教育行政で培ったものを「むら興し」の実践に役立てたい
と思って活動されている。

飯田市上久堅原平在住

『むらづくりはドラマだ』 -土を、地域を、心を耕す-

飯田市 長谷部 三弘

I むらづくりの前に考える

- 1 地域開発型から地域づくり型へ - 地域間競争の時代 -
- 2 地域はどうかより、地域でどうするかである
- 3 終いの住処への愛着 - 生きざまからの出発 -

II むらづくりをドラマで考える

- 1 筋書きどうりにならないドラマと、終章のないドラマ
- 2 ドラマづくりの三つの視点
- 3 製作の意図、シナリオ、演出、役者、舞台は

Ⅲ シナリオの素材を考える

- 1 むらの共通項としての「農」を見直す
- 2 なぜ「業」^{なりわい}をはずすのか - 暗いイメージの払拭 -
- 3 「農」がもっている地域回生の機能

Ⅳ 土を、地域を、心を耕す「風土舎」の実践

- 1 土とは、風とは、舎とは
- 2 生産活動と学習文化活動
- 3 風土舎の仲間たち

Ⅴ まとめにかえて

※「物」で語れ

一粒一滴から考える

2 : 6 : 2 の集団力学